



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2025 年 12 月号（637 号）》

目 次

報 告

・ 常任司教委員会	1
・ 福音宣教司教委員会	2
・ 青少年司牧部門	3
・ 典礼委員会	4
・ 学校教育委員会	4
・ 社会司教委員会	6
・ 正義と平和協議会	9
・ 難民移住移動者委員会	9
・ HIV/AIDS 部門	10
・ 広報宣教司教委員会	11
・ カトリック中央協議会事務局（総務）	12

常任司教委員会

■11 月定例常任司教委員会

日 時 2025 年 11 月 6 日（木）10：00－11：40
場 所 日本カトリック会館 マレラホール/ZOOM
出席者 委 員 7 人
事務局 6 人

報 告

1. 2026 年日本カトリック司教協議会活動方針について
10 月の常任司教委員会での諸意見を加味して 2026 年日本カトリック司教協議会活動方針を確定したことが報告された。
2. 2025 年聖年『希望の巡礼者』司教協議会公式巡礼について
日本カトリック司教協議会の 2025 年聖年公式巡礼を以下のとおり実施したことが報告された。
A コース ルルド・パリ・ローマ 10 日間 2025 年 10 月 2 日(木)～11 日(土)
団長 中村倫明大司教(長崎教区)
B コース アッシジ・ローマ 8 日間 2025 年 10 月 4 日(土)～11 日(土)
団長 前田万葉枢機卿(大阪高松教区)、副団長 スック・ジョバンニ・パオロ神父(ザベリオ宣教会)
3. 第 2 回国際高齢者パストラルケア参加について
教皇庁いのち・信徒・家庭省主催で 2025 年 10 月 2 日～4 日にローマで開催された「第 2 回高齢者パストラルケア会議」に参加した日本カトリック看護協会会長の清水裕子氏から報告書が届いたのでその内容を紹介した。
4. 「名著誕生 ヴァチカン教皇庁図書館 III」後援依頼について
印刷博物館の中西保仁氏より 2026 年 4 月 25 日～7 月 20 日に印刷博物館で開催する「名著誕生 ヴァチカン教皇庁図書館 III」の後援依頼が届いたので、「カトリック中央協議会」として後援することが報告された。

審 議

1. 2026 年 2 月司教総会中の「司教の集い」の準備について
2026 年 2 月の司教総会中に「司教の集い」を開催し、教皇レオ 14 世使徒的勧告“Dilexi te”を学ぶことを確定し、準備を行う。
2. 2026 年度カトリック中央協議会予算編成方針について
本常任司教委員会の諸意見に基づき修正した 2026 年度予算編成方針を承認した
3. 2026 年度教区分担金について
組織改編により従来収益事業部門であったカトリック新聞部門が本部会計に含まれることによる、各教区の 2026 年度分担金の増加と算定額を承認した。
4. 中央協議会発行出版物の企画承認について
出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。
書籍名 使徒的勧告 わたしはあなたを愛している——貧しい人々への愛について
内 容 教皇レオ十四世の使徒的勧告 Dilexi te の邦訳出版
著 者 教皇レオ十四世
(訳：カトリック中央協議会事務局)

福音宣教司教委員会

■2025 年 第 1 回会合

日 時 2025 年 11 月 7 日(金) 13:45～14:45
場 所 日本カトリック神学院 2 階 大講義室(東京・練馬区)
出席者 10 人
欠席者 2 人

報 告

1. 組織再編で発足した当委員会の初会合として、担当委員会（部門）ごとにそれぞれの思いや課題を分かち合い、今後の協力に向けた展望を共有した。本委員会所属の委員会は以下のとおり。
福音宣教委員会（ラウダート・シ部門／青少年司牧部門／外国籍信徒司牧部門／聖書教理部門）、
典礼委員会、学校教育委員会、列聖推進委員会、エキュメニズム・諸宗教委員会。
2. 本委員会の定例会は年2～3回の司教総会時に設定される。その他、委員長が必要と判断した際にも召集される。
3. 予算書作成の基礎資料となる「司教協議会年間活動方針」は、これまで常任司教委員会事務局がたたき台を作成していたが、2027年度予算以降は3司教委員会がその任を担う。
4. 当委員会としての今後の任務は、会合を重ねて検討していくこととする。

次回日程 2026年2月（2025年度臨時司教総会 会期中）

青少年司牧部門

■WYD ソウル大会（2027年）第1回教区担当者準備会

日 時 2025年10月20日（月）14:00－21日（火）13:00

場 所 日本カトリック会館 マレラホール（ハイブリッド）

出席者 23人

会合の趣旨

WYD ソウル大会（2027年8月3日－8日）は、日本から参加しやすい地理的・時期的条件にあり、姉妹教区や韓国から派遣されている司祭のいる教区では、すでに大会に向けて動き出している。このような状況を踏まえ、例年より早いこの時期に、WYDについて現状や疑問など情報を共有する機会として、本会合が設けられた。

内 容

◇1日目（10月20日）

WYDの概要を確認したうえで、本大会前の教区での日々（ソウル大会では「教区大会」と呼称）に関する各教区の動きが共有された。それを受け、日本巡礼団のさまざまな可能性について意見交換を行った。

◇2日目（10月21日）

各教区の青年を取り巻く状況と、青年司牧の希望や課題を分かち合った。

典礼委員会

■ 定例会議

日 時 2025 年 11 月 10 日（月）13：00－17：00

場 所 神言修道会・日本管区センター（愛知・名古屋市）（ハイブリッド会議）

出席者 8 人

欠席者 2 人

報 告

1. 日本における「創造の神秘の祝日」の今後について
9 月 1 日の「被造物を大切に作る世界祈願日」（日本の教会では 9 月の第 1 日曜日）は、現段階では「創造の神秘の祝日」として一般ローマ暦に加えられていないが、各国で独自にその意向によって祝う動きがある。それを視野に入れた日本の教会としての具体的な対応について、来年 1 月にラウダート・シ部門の責任者と検討する予定。
2. カトリック儀式書『成人のキリスト教入信式』ならびに別冊『葬儀ミサ』の重版について
在庫僅少となったため、必要最小限の修正を加えて掲記儀式書の重版を行う。

審 議

1. 全国典礼担当者会議の振り返りと 2026 年度の計画について
本年 9 月に開催された掲記会議について、参加者からのアンケートをもとに振り返り、事後の対応について意見交換を行った。次回以降、2026 年度について具体的な検討を行う。
2. 日本カトリック典礼委員会の今後の作業について
本年 9 月 1 日より新体制となったことを受けて、諸儀式書の発行等について、優先度を考慮に入れながら、より効率的に作業を進めていく必要がある。今会合で現状の作業状況等を確認し、引き続き、『ローマ・ミサ典礼書』完成版の発行を最優先課題とすると合意した。
また、将来、『教会の祈り』規範版（4 巻）に準拠した日本語版を完成する必要があるため、『教会の祈り』改訂委員会を今年度中に発足する予定。今会合で出された意見をもとに、次回以降、さらに検討を進める。

次回日程 定例会議 2026 年 1 月 19 日（月）13:00－17:00 日本カトリック会館

学校教育委員会

■ 第 196 回学校教育委員会

日 時 2025 年 9 月 12 日（金）16：30－18：00

場 所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）

出席者 12 人

欠席者 1 人

報 告

1. 日本カトリック学校連合会の活動報告

2. カトリック学校教育実態調査について、冊子発行の報告とスケジュール確認
3. 全国のカトリック幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校へ7月29日付で「戦後80年司教団メッセージ 平和を紡ぐ旅 希望を携えて」の配布をしたことを報告

審 議

1. 学校教育委員会の活動について
委員長からの新指針「日本カトリック学校教育委員会」の役割について（案）を確認し、今後の活動について意見交換を行った。

■第197回学校教育委員会（オンライン）

日 時 2025年10月24日（金）16:00-18:00

出席者 10人

欠席者 3人

報 告

1. 山崎秘書よりアンケート集計結果と準備会の報告
2. 中野委員長より、アンケートを受けて今後の方向性
 - (1) 「日本カトリック学校教育委員会」の役割～理念作成について
 - (2) 本委員会と連合会（日本カトリック学校連合会）、教育学会（日本カトリック教育学）とのすみ分けについて
 - (3) 「校長・理事長・総長管区長・司教の集い（以下『集い』）」の中身を全面的に見直す

本委員会の理念について意見交換した。本委員会の理念については、司教団にその見解を求め、また、委員会・連合会・教育学会の三本柱の連携を深めていく方法を模索することを申し合わせた。

審 議

1. 「集い」について
開催意義、形式、日程、場所について意見交換を行い、今期は従来の形式での開催の準備を進めることを申し合わせた。

■第198回学校教育委員会

日 時 2025年11月7日（金）16:00-18:00

場 所 日本カトリック神学院 2階 小講義室（東京・練馬区）

出席者 12人

欠席者 1人

報 告

1. 前回会議ふりかえり
2. 「校長・理事長・総長管区長・司教の集い（以下「集い）」に関するアンケート集計結果
来年以降の「集い」の開催について、頻度、時期、形式、期間など意見交換を行った。

審 議

1. 第38回「集い」について

(1) 日程確認

2026年4月28日（火）－29日（水・祝）会場・都市センターホテル（東京・千代田区）

(2) テーマ、講師など

第38回「集い」の内容と準備について意見交換を行った。主講演は中野裕明委員長が行うことが決まり、講師の候補も出された。全体のテーマなどについては継続審議となった。

社会司教委員会

第3回 社会司教委員会 社会司教・事務担当者会議

日 時 2025年7月31日（木）11:00－16:00

場 所 日本カトリック会館2階 第2会議室

出席者 9人

欠席者 2人

報 告

第2回会議議事録にて確認を行った

審 議

1. 組織のあり方、会議内容について

1) 社会司教委員会について

第2回会議にて提案された案をもとに検討を行い、以下を決定した

①社会司教委員会のメンバーとして修道会管区長会からの派遣を依頼しない。

②最終決裁事項のある時に集まる。

2) 社会福音化委員会（仮称）について

社会司教委員会の下に一つの委員会（現セクションを一つに統合。仮称「社会福音化委員会」）を置く。

①名称：「いのち・人権・平和委員会」とする。名称決定の主な理由として、外部に対して何を行う委員会なのかを明確にするため。

②働き：「いのち（尊厳／不可侵性の尊重）・人権（擁護）・平和（正義を前提とした平和な社会）」を促進するための啓発活動推進とメッセージ・ネットワーク推進を行う。

③啓発活動推進について：社会的課題の共有と理解の促進（福音的価値観の深化）を教区、活動団体とともに推進する。現難民移住移動者委員会、部落差別人権委員会、HIV/AIDS部門、子どもと女性の権利擁護部門の 이슈のほかに、現代社会の中でいのちや人権を脅かされている人々の状況や社会的課題に向き合う。

④メッセージ・ネットワーク推進について：社会の中の不正義な事項について、福音的価値観に基づいたカトリック教会の提言の発信を行う。現正義と平和協議会、難民移住移動者委員会や部落差別人権委員会の構造的（法的）な 이슈と向き合う。同様の課題について動いている活動団体のネットワークに参加し、情報共有を行い、メッセージにつなげる。

⑤委員会構成員：社会司教、委員、秘書、事務局とする。

2. 秘書、委員の決め方

継続審議とする。

3. 予算案等について

社会司教委員会、社会福音化事務課のほかに、現セクション（協議会、委員会、部門）を統一して、新委員会のコードを新たに設ける。

次回日程 2025 年 9 月 17 日（水）11：00－16：00 日本カトリック会館 第2会議室

■第4回 社会司教委員会 社会司教・事務担当者会議

日 時 2025 年 9 月 17 日（水）11：00－16：00

場 所 日本カトリック会館2階 第2会議室

出席者 10 人

欠席者 1 人

報 告

1. 前回議事内容
2. 常任司教委員会（9 月 11 日）
3. 各セクション（協議会、委員会、部門）からの意見

審 議

1. 9 月以降について
 - 1) 各セクション名義の終了の確認（2025 年 9 月－2026 年 3 月まで）
 - ①全セクション共通
2026 年 3 月までは事務局としてかかわっている事項（ウェブサイトほか広報物、加盟団体での名義、各セクションからの派遣）については、そのままセクション名を使用する。
 - ②各セクション関連
各セクションで対応していた対外的なことがらについて討議した。
 - ③事務局会議について
社会司教委員・事務担当者会議にて共有した上で、必要に応じて検討する。
 - 2) 教区担当者の方、教区長・教区事務所宛への周知について
 - a. 教区担当者への説明について
「社会司教委員会 説明会」11 月 25 日（火）13：30－15：00 オンライン形式にて開催する。
 - b. 教区長・教区事務所宛の周知について
2026 年 2 月司教総会後に周知する。
2. 2026 年度 事業計画、予算案について
各セクションから継続して行うべき次年度事業ならびに活動支援金、会費・賛同金など計上する項目を審議した。また、組織改編に伴う部門コードの変更等について確認を行った。
3. 難民移住移動者委員会「ベトナム人労働相談ホットライン」について
ベトナム人労働相談ホットラインは活動団体であり、ネットワークの一つとして位置付ける。
4. いのち・人権・平和委員会について
次回会議の審議とする。

次回日程 2025 年 10 月 28 日（火）11：00－16：00

■第5回 社会司教委員会 社会司教・事務担当者会議

日 時 2025 年 10 月 28 日（火）11：00－16：30

場 所 日本カトリック会館 2 階 第 3 会議室

出席者 9 人

欠席者 2 人

報 告

1. 前回議事内容
2. 正義と平和全国集会仙台大会

審 議

1. 今後の体制について
 - 1) 社会系委員会の会議構成と役割の確認
社会司教委員会、いのち・人権・平和委員会、事務局会議の各 3 会議の開催頻度、会議構成者、会議参加者、役割について確認を行った。
 - 2) いのち・人権・平和委員会について
委員会の方向性、委員・専門、秘書（実務担当者）について確認した。
 - 3) 早期に打合せが必要なことがら
協議会、委員会が活動団体またはグループとして活動していくにあたり、早期に打合せが必要なことがらについて審議した。
2. 2026 年度予算案について
 - 1) 部門コードについて
財務部より提案された部門コードで進める。
 - 2) 2026 年度予算案について
予算案提出前までに調整をして、11 月 25 日の社会司教委員会にて決定する。
3. 11 月 25 日説明会（13：30－15：00）について
当日の流れについて確認を行った。
4. その他
 - 1) 「タリタクム日本」について
日本女子修道会総長管区長会会長、日本カトリック管区長協議会会長から社会司教委員長宛の書簡にある依頼事項について審議した。
 - 2) 「受刑者とともに捧げるミサ」の公認について
2025 年 12 月 13 日（土）17:00 より東京・麹町（聖イグナチオ）教会（東京・千代田区）でイエズス会社会司牧センター主催で行われる「受刑者とともに捧げるミサ」。正義と平和協議会が後援し、謝礼も一部負担する。

次回日程 11 月 25 日（火）11：00－16：00 第 2 会議室

13：30－15：00 第 3 会議室にて説明会

正義と平和協議会

■2025 年度第 2 回事務局会議

日 時 2025 年 8 月 20 日（水）13：30－15：30

場 所 ウェブ会議

出席者 5 人

報 告

1. 全国集会仙台大会（2025 年 10 月 11 日－13 日）準備状況

審 議

1. 定例委員会（8 月 22 日）議案の確認
2. 中央協議会組織改編について
社会司教委員会からの説明文章を確認し、意見交換を行った。

■2025 年度第 2 回定例委員会

日 時 2025 年 8 月 22 日（金）13：30－15：30

場 所 ウェブ会議

出席者 16 人

欠席者 2 人

報 告

1. 全国集会仙台大会（2025 年 10 月 11 日－13 日）準備状況

審 議

1. 中央協議会組織改編について
社会司教委員会からの説明を受け、今後について討議を行った。

難民移住移動者委員会

■2025 年度第 2 回定例委員会

日 時 2025 年 8 月 22 日（金）15：00－17：00

場 所 ウェブ会議

出席者 16 人

欠席者 5 人

報 告

1. 第 111 回世界難民移住移動者の日
「“Migrants, missionaries of hope”『移住者——希望の宣教者』」について
バチカンでは 10 月 4 日－5 日の「移住者の祝祭」に合わせて記念される。日本の教会は例年同様に 9 月
最終日曜に記念する。教皇メッセージ、ポスター等の広報物は 9 月第一週に全国発送予定。

2. 援助金報告

6 月カトリック東京国際センターCTIC 1 件、7 月 NPO 法人北関東医療相談会 1 件

3. アドボカシー啓発／ネットワーク関連報告

排外主義の扇動に反対する NGO 緊急共同声明賛同、強制送還事案、「子どもたちを強制送還しないでください」オンライン署名等について報告のうえ、オンライン署名への賛同を決定した。

4. ベトナム人労働生活相談ホットライン報告

2020 年の新型コロナ感染拡大を受け、カトリック関係者に届くベトナム人技能実習生・留学生からの窮状の訴えへの対応として、法律や労働問題の専門家ネットワークとの共催で始まった。昨年より仙台拠点も加わり、教会ネットワークも広がってきている。

審 議

1. 社会司教委員会の組織改編について

委員長からの進捗報告・説明を受けて、質疑応答を行い、今後に向けて討議した。これまでの委員会運営や活動、担当司祭・修道者・信徒の関係者が、委員会の場で課題や情報を共有してきた経験から、組織改編後また移行期間中についての意見が話し合われた。

HIV/AIDS 部門

■2025 年度第 2 回定例会議

日 時 2025 年 8 月 12 日（火）14：00－15：30

場 所 ウェブ会議

出席者 11 人

欠席者 2 人

報 告

1. 委員の自己紹介および森山信三担当司教より新任のあいさつ
2. 社会司教委員会の組織改編、今後の体制について
3. 2025 年第 11 回勉強会（6 月 21 日〈土〉イエズス会・岐部ホール〈東京・千代田区〉）
4. 認定 NPO 法人ぶれいす東京への賛同金について
5. AIDS 文化フォーラム in 横浜（8 月 1 日〈金〉－8 月 3 日〈日〉）かながわ県民センター／神奈川・横浜市）
6. 今後の予定についての確認
 - ・文京区カラーリボンフェスタ（8 月 26 日〈火〉－8 月 27 日〈水〉文京区役所／東京・文京区）
 - ・委員会、部門の活動は 8 月末日をもって終了。報告 2 のとおり、2026 年 3 月までは、新体制移行期間となるため、部門としての活動を休止する。

審 議

1. リーフレットについて

リーフレット残部の報告と今後の印刷数について検討を行った。残部を 8 月中の行事の際に啓発物として無料配布を行い、再印刷は行わない。

2. 啓発頒布品について

啓発頒布品であるトートバッグ、クリアファイルの残部報告および今後の配布について検討した。

広報宣教司教委員会

■2025 年 第 1 回会合

日 時 2025 年 11 月 7 日（金）13：45－14：45

場 所 日本カトリック神学院 1 階 会議室（東京・練馬区）

出席者 5 人

報 告

1. 新設委員会のため「広報宣教司教委員会」と「広報委員会」それぞれの規約の策定から着手することが確認された。
2. 構成する委員の状況について確認を行った。他の委員会との兼任者が複数名いることや追加で招集すべき人員について意見交換を行った。
3. 「広報宣教司教委員会」と「広報委員会」のそれぞれの役割については前者が方針を定めて、後者が具体的取り組みを検討することが確認された。
4. 今後、広報委員会で具体的に検討することとなる、カトリックジャパンニュース（CJN）とカトリックジャパンダイジェスト（CJD）が、現在抱えている問題（メディアとしての独立性、職員補充など）について分かち合った。
5. 広報活動の新体制が発足したことをうけ、他の委員会や部門関連の広報にも積極的に関与していく必要性と可能性を確認した。

次回日程 2026 年 2 月（2025 年度臨時司教総会 会期中）

カトリック中央協議会事務局

■総務

12 月会議予定

3 日(水)	カリタスジャパン委員会	ウェブ会議
3 日(水)	リニューアル・プロジェクト定例総合会議	日本カトリック会館
3 日(水)	教会行政法制委員会	〃
3 日(水)	司祭生涯養成プログラム実行委員会	〃
3 日(水)	外国籍信徒司牧部門会議	カトリック調布教会 (東京・調布市)
4 日(木)	常任司教委員会	日本カトリック会館
4 日(木)	第 1 回広報委員会	〃
4 日(木)	第 3 回未成年者等ガイドライン運用促進委員会	ウェブ会議
8 日(月)	難民移住移動者に関する意見交換会	日本カトリック会館
8 日(月)	衛生委員会	〃
9 日(火)	男女修道会、社会司教委員会代表者会議	〃
9 日(火)	社会福音化事務課会議	〃
9 日(火)	世界人権宣言 77 周年記念東京集会	全電通労働会館 (東京・千代田区)
10-11 日(水-木)	典礼音楽担当部門会議	日本カトリック会館
10 日(水)	タリタクム日本運営委員会	〃
10 日(水)	日キ連第 3 回常任委員会	ウェブ会議
19 日(金)	第 7 回社会司教委員会 社会司教・事務担当者会議	〃

カトリック中央協議会 「会報」 2025 年 12 月号 (通巻 637 号)

発行日 2025 年 12 月 10 日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <https://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457